

平成29年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 出題のねらい等

	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と計算	5年	A(3)イ 小数の乗法, 除法の計算	小数×小数が計算できること。			○		○	
②		(2)		数と計算	5年	A(3)イ 小数の乗法, 除法の計算	整数÷小数が計算できること。			○		○	
③		(3)		数と計算	5年	A(4)オ 異分母分数の加法, 減法	異分母の分数のひき算の計算ができること。			○		○	
④	2	(1)		数と計算	4年	A(2)ウ 四則計算の結果の見積り	日常生活の場面において, 見積りの数の和の意味を, 目的に応じて考えることができること。		○				○
⑤		(2)		数と計算	5年	A(3)イ 小数の乗法, 除法の計算	除数が1より小さいとき, 商が被除数より大きくなることを理解していること。				○	○	
⑥		(3)		数と計算	5年	A(3)ウ 小数の乗法, 除法に関して成り立つ性質	整数のわり算に関して成り立つ関係や法則が, 小数の場合でも成り立つことを理解していること。				○	○	
⑦		(4)		数と計算	5年	A(3)ウ 小数の乗法, 除法に関して成り立つ性質	かけ算とわり算の相互関係から, 計算の結果を確かめる方法が分かること。				○	○	
⑧	3	(1)		数と計算	5年	A(3)ア 小数の乗法, 除法の意味	基準量と比較量から基準量を求めるためには, 除法を用いることを理解していること。				○	○	
⑨		(2)		数と計算	5年	A(3)ア 小数の乗法, 除法の意味	2つの数量の関係を図と関連付けて考えることができること。		○				○
⑩	4	(1)		数量関係	5年	D(2) 数量の関係を表す式	2つの数量の関係を表に表そうとしていること。	○					○
⑪		(2)		数量関係	5年	D(2) 数量の関係を表す式	2つの数量関係を表した図や表をもとに, その中の規則性を式に表すことを考えることができること。		○				○
⑫	5	(1)		量と測定	5年	B(2)イ 立方体及び直方体の体積の求め方	直方体に変形された図から, 体積の求め方を図と式を関連付けて考えることができること。		○				○
⑬		(2)		量と測定	5年	B(2)イ 立方体及び直方体の体積の求め方	水槽の中に入っている水の体積を求めることができること。			○		○	
⑭	6	(1)		量と測定	5年	B(4)ア 単位量当たりの大きさ	単位量当たりの大きさを求める式の意味を理解していること。				○	○	
⑮		(2)		量と測定	5年	B(4)ア 単位量当たりの大きさ	単位量当たりの大きさを使って, 混みぐあいを比べる方法の説明を考えることができること。		○				○
⑯	7	(1)		図形	5年	C(1)イ 図形の合同	合同な三角形の対応する頂点の関係を理解していること。				○	○	
⑰		(2)		図形	5年	C(1)イ 図形の合同	2つの合同な三角形を組み合わせてできる四角形を調べようとしていること。	○					○
⑱		(3)		図形	5年	C(1)イ 図形の合同	合同な三角形の作図の方法を考えることができること。		○				○
⑲	8	(1)		数量関係	4年	D(4)ア 二つの観点から分類整理すること	二次元表に入る数量を求めることができること。			○		○	
⑳		(2)		数量関係	4年	D(4)ア 二つの観点から分類整理すること	二次元表に入る数量の意味を考えることができること。		○				○

※ 網掛けの問題は, 過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。